

○申請に対する処分の審査基準・標準処理期間

| | | |
|-------------|--|--------------------------------|
| 部 課 室 等 名 | 都市建設部 公園緑地課 管理担当 | |
| 許 認 可 等 名 | 公園管理者以外の者の公園施設の設置又は管理の許可又は変更許可 | |
| 根 拠 法 令 | 都市公園法 | |
| 根 拠 条 項 | 第5条第1項 | |
| 連 絡 先 | (電話 621-5295) | |
| 審 査 基 準 | <p>都市公園法第5条第2項各号のいずれかに該当することとし、次の①から④までのいずれにも該当することを基準とする。</p> <p>① 申請する施設により公衆の都市公園利用及び都市公園の維持管理に支障をきたさないこと。</p> <p>② 申請する施設が、公園の景観上、調和のとれたものであること。</p> <p>③ 申請する施設の良い管理が、将来にわたって担保されていること。</p> <p>④ 財政上、技術上、その他の理由により、公園管理者が自ら設置することが不適切又は困難な施設であること。</p> <p>なお、公園施設とは、都市公園法第2条第2項、都市公園法施行令第5条第1項から第8項まで及び都市公園法施行規則第1条の2に規定している公園施設をいう。</p> <p>[根拠法令] 都市公園法 (公園管理者以外の者の公園施設の設置等) 第5条 第2条の3の規定により都市公園を管理する者（以下「公園管理者」という。）以外の者は、都市公園に公園施設を設け、又は公園施設を管理しようとするときは、条例（国の設置に係る都市公園にあつては、国土交通省令）で定める事項を記載した申請書を公園管理者に提出してその許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。</p> | |
| | 参 考 事 項 | |
| | 設定等年月日 | 平成24年 8月 1日設定（令和 3年 4月 1日最終変更） |
| 標 準 処 理 期 間 | <p>標準処理期間 総日数 10日（年末年始を除き休日を含む）</p> <p>（設定しないものについてはその理由）</p> | |
| | 設定等年月日 | 平成24年 8月 1日設定（令和 年 月 日最終変更） |

基準

[基準法令]
都市公園法
第5条

- 2 公園管理者は、公園管理者以外の者が設ける公園施設が次の各号のいずれかに該当する場合に限り、前項の許可をすることができる。
- (1) 当該公園管理者が自ら設け、又は管理することが不適當又は困難であると認められるもの
 - (2) 当該公園管理者以外の者が設け、又は管理することが当該都市公園の機能の増進に資すると認められるもの

[参考法令]
都市公園法
(定義)
第2条

- 2 この法律において「公園施設」とは、都市公園の効用を全うするため当該都市公園に設けられる次の各号に掲げる施設をいう。
- (1) 園路及び広場
 - (2) 植栽、花壇、噴水その他の修景施設で政令で定めるもの
 - (3) 休憩所、ベンチその他の休養施設で政令で定めるもの
 - (4) ぶらんこ、すべり台、砂場その他の遊戯施設で政令で定めるもの
 - (5) 野球場、陸上競技場、水泳プールその他の運動施設で政令で定めるもの
 - (6) 植物園、動物園、野外劇場その他の教養施設で政令で定めるもの
 - (7) 売店、駐車場、便所その他の便益施設で政令で定めるもの
 - (8) 門、さく、管理事務所その他の管理施設で政令で定めるもの
 - (9) 前各号に掲げるもののほか、都市公園の効用を全うする施設で政令で定めるもの

都市公園法施行令
(公園施設の種類)

- 第5条 法第2条第2項第2号の政令で定める修景施設は、植栽、芝生、花壇、いけがき、日陰たな、噴水、水流、池、滝、つき山、彫像、灯籠、石組、飛石その他これらに類するものとする。
- 2 法第2条第2項第3号の政令で定める休養施設は、次に掲げるものとする。
- (1) 休憩所、ベンチ、野外卓、ピクニック場、キャンプ場その他これらに類するもの
 - (2) 前号に掲げるもののほか、都市公園ごとに、地方公共団体の設置に係る都市公園にあつては当該地方公共団体が条例で定める休養施設、国の設置に係る都市公園にあつては国土交通大臣が定める休養施設
- 3 法第2条第2項第4号の政令で定める遊戯施設は、次に掲げるものとする。
- (1) ぶらんこ、滑り台、シーソー、ジャングルジム、ラダー、砂場、徒渉池、舟遊場、魚釣場、メリーゴーラウンド、遊戯用電車、野外ダンス場その他これらに類するもの
 - (2) 前号に掲げるもののほか、都市公園ごとに、地方公共団体の設置に係る都市公園にあつては当該地方公共団体が条例で定める遊戯施設、国の設置に係る都市公園にあつては国土交通大臣が定める遊戯施設
- 4 法第2条第2項第5号の政令で定める運動施設は、次に掲げるものとする。
- (1) 野球場（専らプロ野球チームの用に供されるものを除く。）、陸上競技場、サッカー場（専らプロサッカーチームの用に供されるものを除く。）、ラグビー場、テニスコート、バスケットボール場、バレーボール場、ゴルフ場、ゲートボール場、水泳プール、温水利用型健康運動施設、ボート場、スケート場、スキー場、相撲場、弓場、乗馬場、鉄棒、つり輪、リハビリテーション用運動施設その他これらに類するもの及びこれらに附属する観覧席、更衣所、控室、

| | |
|-------------|---|
| <p>審査基準</p> | <p style="text-align: center;">基準</p> <p>運動用具倉庫、シャワーその他これらに類する工作物</p> <p>(2) 前号に掲げるもののほか、都市公園ごとに、地方公共団体の設置に係る都市公園にあつては当該地方公共団体が条例で定める運動施設、国の設置に係る都市公園にあつては国土交通大臣が定める運動施設</p> <p>5 法第2条第2項第6号の政令で定める教養施設は、次に掲げるものとする。</p> <p>(1) 植物園、温室、分区園、動物園、動物舎、水族館、自然生態園、野鳥観察所、動植物の保護繁殖施設、野外劇場、野外音楽堂、図書館、陳列館、天体又は気象観測施設、体験学習施設、記念碑その他これらに類するもの</p> <p>(2) 古墳、城跡、旧宅その他の遺跡及びこれらを復原したもので歴史上又は学術上価値の高いもの</p> <p>(3) 前2号に掲げるもののほか、都市公園ごとに、地方公共団体の設置に係る都市公園にあつては当該地方公共団体が条例で定める教養施設、国の設置に係る都市公園にあつては国土交通大臣が定める教養施設</p> <p>6 法第2条第2項第7号の政令で定める便益施設は、売店、飲食店（料理店、カフェ、バー、キャバレーその他これらに類するものを除く。）、宿泊施設、駐車場、園内移動用施設及び便所並びに荷物預り所、時計台、水飲場、手洗場その他これらに類するものとする。</p> <p>7 法第2条第2項第8号の政令で定める管理施設は、門、さく、管理事務所、詰所、倉庫、車庫、材料置場、苗畑、掲示板、標識、照明施設、ごみ処理場（廃棄物の再生利用のための施設を含む。以下同じ。）、くず箱、水道、井戸、暗渠、水門、雨水貯留施設、水質浄化施設、護岸、擁壁、発電施設（環境への負荷の低減に資するものとして国土交通省令で定めるものに限る。以下同じ。）その他これらに類するものとする。</p> <p>8 法第2条第2項第9号の政令で定める施設は、展望台及び集会所並びに食糧、医薬品等災害応急対策に必要な物資の備蓄倉庫その他災害応急対策に必要な施設で国土交通省令で定めるものとする。</p> <p>徳島市都市公園条例 （公園施設の設置若しくは管理又は占用の許可の申請書の記載事項） 第8条 法第5条第2項の条例で定める事項は、次の各号に掲げるものとする。</p> <p>(1) 公園施設を設けようとするときは、次に掲げる事項</p> <p>ア 設置の目的 イ 設置の期間 ウ 設置の場所 エ 公園施設の構造 オ 公園施設の管理の方法 カ 工事実施の方法 キ 工事の着手及び完了の時期 ク 都市公園の復旧方法 ケ その他市長の指示する事項</p> <p>(2) 公園施設を管理しようとするときは次に掲げる事項</p> <p>ア 管理の目的 イ 管理の期間 ウ 管理する公園施設 エ 管理の方法 オ その他市長の指示する事項</p> <p>(3) 許可を受けた事項を変更しようとするときは、当該事項</p> |
|-------------|---|